

## 第10回「サービス・ラーニング全国フォーラム」のご案内

テーマ：日本における“クリティカル・サービス・ラーニング”の可能性  
ー社会変革に向けた一歩を踏み出す「対話」を共にー

世界的な民主主義の危機や深まる分断、不可視化される格差、気候変動や人口減少、共生の課題が山積する一方で、AIによる効率化と生産性の追求が加速しています。2026年、私たちを取り巻く環境は大きな転換期を迎え、複雑な課題に直面しています。こうした時代において、大学や学校が地域と連携して学ぶ「サービス・ラーニング (Service-Learning, SL)」の役割は、より重要性を増していると考えられます。

第10回目を迎える今回の全国フォーラムでは、これまで積み重ねられてきたSL実践や地域との連携活動を大切に受け止めながら、その一歩先にある「問い」を参加者の皆さんと共に深めていきたいと考えています。

たとえば、私たちの関わる活動は、表面的な「支援」や「体験」に留まってははいないでしょうか。少し立ち止まって、これまでの取り組みをじっくり捉え直してみませんか。

■ 「社会の仕組み」を問う：

目の前の困りごとは、なぜ起きているのか。その背景にある社会の構造や制度を、教室と現場を行き来しながらいかに探究できるか。

■ 「共につくる、連携のあり方」を問う：

「助ける側・助けられる側」という固定的な関係を超え、地域の方々と対等なパートナーとして、共に社会を形作るための権限や役割をいかに分かち合えるか。

■ 「本物の関係性」を問う：

形式的な交流に留まらず、時には意見の食い違いや「特権」による難しさを認め合いながらも、本音で響き合える関係性をいかに築けるか。

こうした「クリティカルな視点」を持つことは、これまでの実践の価値や課題を捉え直し、学びをより豊かで本質的なものへと深化させるための「レンズ」を手に入れることにつながるでしょう。

午後は、第1分科会で「初等中等教育における実践研究」を、第2分科会では「私にとってのクリティカル・サービスラーニング的視点」をテーマに、実践・研究発表の場を用意しています。そして、プログラムの最後には、参加者がSLに関わる根源的な問い（例えば、SLにおける「学び」とは何か。何のためのSLか。等）に対して、共に探究する「哲学対話」を実践します。AIが即時的な答えを出す時代に、あえてそれぞれの経験と理解を手がかりに問い続け、対話を育むプロセスを通して、SLの営みが持つ真の可能性を共に問い直してみませんか。

これまでのSL実践の経験の有無にかかわらず、このフォーラムが、参加者のみなさまにとって、日々の実践や研究を新しい目で見つめ直す機会となり、そして社会を変革する一歩を共に踏み出すための「対話の広場」となることを願っています。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

日時：	2026年5月17日(日)9:30-17:00
会場：	桜美林大学新宿キャンパス本館(東京都新宿区百人町3丁目23-1) アクセス： <a href="https://www.obirin.ac.jp/access/shinjuku/">https://www.obirin.ac.jp/access/shinjuku/</a> (JR新大久保駅より徒歩8分) キャンパス360°パノラマ： <a href="https://tourmkr.com/F1meYvKxcD/31063887p&amp;262.56h&amp;94.04t">https://tourmkr.com/F1meYvKxcD/31063887p&amp;262.56h&amp;94.04t</a>
教室：	午前：J304, J305 午後：J304, J305, J201-J205
主催：	日本サービス・ラーニング・ネットワーク (JSLN)
申込方法：	下記Googleフォーム/右記QRコードからお申し込みください。 Googleフォーム： <a href="https://forms.gle/w7dgjwEcs8WLSctR8">https://forms.gle/w7dgjwEcs8WLSctR8</a>
申込締切：	2026年5月8日(金)
参加費：	JSLN会員/桜美林大学関係者：無料 非会員：3,000円 大学生・大学院生：無料
懇親会：	大会後、17:30より情報交換会を予定しています。
問合せ先：	<a href="mailto:japanslnetwork@gmail.com">japanslnetwork@gmail.com</a>

《参加申込 QR コード》



全国フォーラム

## 第10回「サービス・ラーニング全国フォーラム」プログラム

9:30	《受付開始》 1階エントランスホール
10:00-10:10	《開会》 JSLN代表挨拶： 唐木清志（筑波大学） 開催校挨拶： 山口有次（桜美林大学副学長）
10:10-10:30	《趣旨説明》 黒沼敦子（国際基督教大学）
10:30-12:00	《シンポジウム》 テーマ：日本におけるクリティカル・サービス・ラーニングの可能性 —社会変革に向けた一歩を踏み出す「対話」を共に— 本シンポジウムでは、国内の大学における二つの事例を手がかりに、表面的な「支援」や「体験」にとどまらない実践のあり方を問い直します。社会の構造的な問題や力関係に向き合い、本物の関係性に基づく変化を志向するサービス・ラーニングに、私たちはどのように関わることができるのか。参加者同士の対話を通じて、自らのあり方や立ち位置を省察し、学びと実践の意味を捉え直す視座を深めることを目指します。  登壇者： 杉原真晃（聖心女子大学）、北出慶子（立命館大学） 司会・コメンテーター： 黒沼敦子（国際基督教大学）、山田一隆（東海大学）
12:00-13:30	休憩（12:00-12:30は総会）
13:30-15:00	《分科会》 <b>第1分科会：初等中等教育における実践・研究</b> 日本の初等中等教育では、地域連携やボランティア学習、探究学習として、創意工夫に満ちた実践が数多く展開されています。本分科会では、こうした初等中等教育での実践に焦点を当てて、サービス・ラーニングのあり方を検討していきます。最後に、本フォーラムのテーマである“クリティカル・サービス・ラーニング”の視点を交えつつ、新たな教育的価値を、対話を通じて共に掘り下げていきます。  司会：唐木清志（筑波大学）、石筒覚（高知大学）  <b>第2分科会：私のクリティカル・サービス・ラーニング的視点</b> 本分科会では、午前のシンポジウムを受け、“クリティカル・サービス・ラーニング”の根幹である「社会構造の変革」「権力関係の再考」「本物の関係性」という問いをさらに深めていきます。SL及びSLに限定されない多様な地域連携活動を軸に、それぞれの実践に内容される「クリティカルな視点」を手がかりとして、それらをより「変容的」な学びへと昇華させるための視座を共に探究していきます。  司会：川田麻記（桜美林大学）
15:00-15:15	休憩
15:15-16:45	《哲学対話セッション—属性を超えた対話の実践—》 フォーラムの締めくくりとして、本セッションでは、参加者が共に一つの問いに向き合う「哲学対話」を実践します。答えや結論を急がず、対話を通じて自らの前提や視点を省察的に問い直し、視野を広げるプロセスそのものを大切にします。シンポジウム、分科会での気づきを糧に、正解のない問いについて、さらに問い合い、異なる立場の参加者との対話の中で、SLの営みが持つ真の可能性を捉え直しながら、今後の活動に向けたそれぞれのヒントを持ち帰ることを目指します。  問い： <ul style="list-style-type: none"> <li>● Service-Learning における「学び」とは？</li> <li>● Service-Learning における「サービス」とは？</li> <li>● なぜ（なんのために）、Service-Learning をするのか？</li> <li>● Service-Learning で取り組む社会課題は、どうすれば「自分ごと」になる？</li> </ul>
16:45-17:00	閉会の挨拶（各教室で）
17:30～	情報交換会

## ◆ 参加費納入方法

### 【フォーラム参加費、情報交換会費の納入方法】

#### JSLN 会員/桜美林大学ご関係者

- ・ フォーラムのみ参加 無料
- ・ フォーラムと情報交換会の両方に参加 5,000 円

#### 一般(非会員)

- ・ フォーラムのみ参加 3,000 円
- ・ フォーラムと情報交換会の両方に参加 8,000 円

#### 大学生・大学院生

- ・ フォーラムのみ参加 無料
- ・ フォーラムと情報交換会の両方に参加 5,000 円

※ご入金後の返金は致しかねます。ご了承ください。

なお、申込メ切日の5月8日(金)までに参加費のお振込みをお願いいたします。

問合せ先: JSLN 事務局 ([japanslnetwork@gmail.com](mailto:japanslnetwork@gmail.com))

### 【参加費・情報交換会費 お振込み先】

- ・ 銀行名: ゆうちょ銀行
- ・ 店名: 〇一八(読み ゼロイチハチ)
- ・ 店番: 〇一八
- ・ 預金種目: 普通預金
- ・ 口座番号: 7264312
- ・ 口座名: 日本サービス・ラーニング・ネットワーク

※恐れ入りますが、振込手数料をご負担願います。領収書は全国フォーラム当日お渡しいたします。

## ◆ 昼食について

- ・ 各自ご用意・持参下さい(当日学内のカフェテリアはお休みです)。
- ・ キャンパス近辺のコンビニエンスストア等で購入可能です。